

|         |      |          |    |      |     |     |   |
|---------|------|----------|----|------|-----|-----|---|
| 学年      | 高校3年 | 教科       | 芸術 | 科目   | 書道Ⅱ | 単位数 | 2 |
| 教科書名    |      | 書Ⅱ（光村図書） |    | 副教材名 | なし  |     |   |
| コース・クラス |      | スポーツ、芸能  |    |      |     |     |   |

#### 1. 目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

#### 2. 授業のねらい

- (1) 書体、書風、意図に即した適切な用具・用材の選択力を身に付ける。
- (2) 臨書と鑑賞を通して表現を工夫し、個性的な表現ができるようにする。
- (3) 表現形式に応じて全体構成ができるようにする。
- (4) 書の美の諸要素を把握し、その表現効果について理解し、感受性を深める。
- (5) 書の美と時代、風土、筆者などのかかわり、その表現方法や形式等について理解を深める。
- (6) 日本及び中国等の書の歴史・文化と書の現代的意義について理解を深める。

#### 3. 授業の進め方

- (1) 書の知識と実技について、全体説明と個人指導を行う。
- (2) 古典臨書を基にした創作を適宜行う。
- (3) 実用書、硬筆の練習を適宜行う。

#### 4. 学習上の留意点

- (1) 用具用材を持参し、授業を受けること。
- (2) 用具用材の管理、備品や設備を適切に使うこと。
- (3) 提出物は必ず出すこと。
- (4) 表現されたものの特性や歴史的位置づけに関心を持ち、幅広い書の美を理解し、自己表現に役立つようにする。

#### 5. 定期試験

- ・定期試験期間の試験は実施せず、各単元終了時に実技テストを実施する。

#### 6. 評価方法

- ・授業内での提出作品、単元ごとの実技テストによる評価、忘れ物、授業態度など。

7. 授業計画

| 学期  | 月  | 単元・学習項目   | 評価方法                  | 到達目標   |
|-----|----|---|-----------------------|--|
| 一学期 | 4  | ガイダンス<br>篆書   | 作品提出<br>実技テスト<br>授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>篆書や隸書が書かれた時代背景や造形の特徴を知り、適切な筆法で書くことができる。</li> <li>表現効果を考えて運筆、墨量、線質を調整し、作品として仕上げるができる。</li> <li>隸書の学習を生かして楷書を書くことができる。</li> </ul> |
|     | 5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本用筆</li> <li>「泰山刻石」の臨書</li> <li>「小臣觶犧尊」の臨書</li> <li>「甲骨文」の臨書</li> </ul> |                       |  |
|     | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト</li> </ul> 隸書  |                       |  |
|     | 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本用筆</li> <li>「乙瑛碑」の臨書</li> <li>「曹全碑」の臨書</li> </ul>                      |                       |  |
|     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト</li> </ul> 楷書<br>「美人董氏墓誌銘」   |                       |  |
|     |    |   |                       |  |
|     |    |   |                       |  |
| 二学期 | 9  | 行書<br><ul style="list-style-type: none"> <li>「争坐位文稿」の臨書</li> <li>「喪乱帖」の臨書</li> </ul>                            | 作品提出<br>実技テスト<br>授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の基本的な筆法を踏まえて、多彩な表現の書を臨書することができる。</li> <li>これまでの学習を踏まえて創作することができる。</li> <li>細字の学習を通して小筆に慣れ、日常生活に取り入れることができる。</li> </ul>        |
|     | 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「松風閣詩巻」の臨書</li> </ul> 創作   |                       |  |
|     | 11 | 細字の学習<br><ul style="list-style-type: none"> <li>写経「般若心経」</li> </ul>   |                       |  |
|     | 12 |   |                       |  |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。